

Japanese Unexamined Utility Model Publication No. 04-134962

Relevance: The following description is disclosed in columns [ABSTRACT].

5 [TITLE OF THE CREATION]

LIP TYPE SEAL

[ABSTRACT]

[PURPOSE]

10 To ensure sealing performance upon vacuuming a machine interior A.

[CONSTITUTION]

A shape retaining ring 9 made of metal substantially forms the same curved cross section in shape as a machine interior side surface 2b of a lip member 2 made of rubber in a state that an inner diameter sliding portion 2a of
15 the lip member 2 slidably contacts an outer circumferential surface of a shaft 8, and is arranged on the machine interior side surface 2b of the lip member 2, thereby, restricting outward deformation of the lip member 2 made of rubber upon vacuuming a machine interior A, and blocking air B from invading into the machine interior A. Also outward deformation of a lip member 4 made of synthetic
20 resin is restricted.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-134962

(43) 公開日 平成4年(1992)12月15日

(51) Int.Cl.⁵
F 1 6 J 15/32

識別記号 庁内整理番号
3 1 1 P 6826-3 J

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21) 出願番号 実願平3-50371

(22) 出願日 平成3年(1991)6月5日

(71) 出願人 000101879

イーグル工業株式会社

東京都港区芝大門1-12-15 正和ビル7
階

(72) 考案者 老山 幸一郎

岡山県高梁市落合町阿部1212番地 イーグ
ル工業株式会社岡山工場内

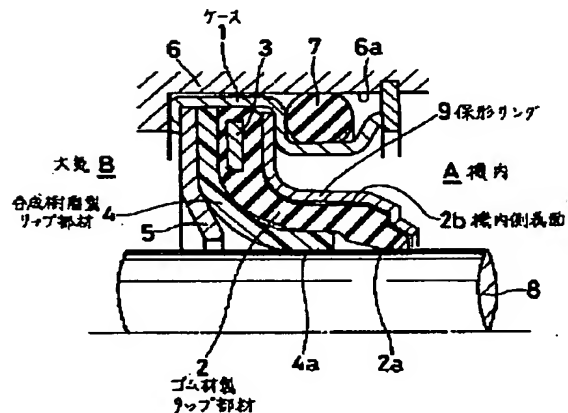
(74) 代理人 弁理士 野本 陽一

(54) 【考案の名称】 リップ型シール

(57) 【要約】

【目的】 機内Aを真空引きする際のシール性を確保する。

【構成】 ゴム材製リップ部材2の機内側表面2bに、その内径弾動部2aがシャフト8の外周面と摺接した状態における前記機内側表面2bの断面形状と相似形に屈曲した断面形状をなす金属製の保形リング9を添設することによって、機内Aの真空引き時におけるゴム材製リップ部材2の拡張変形を規制して機内Aへの大気Bの侵入を阻止し、合成樹脂製リップ部材4の拡張変形も規制する。



1

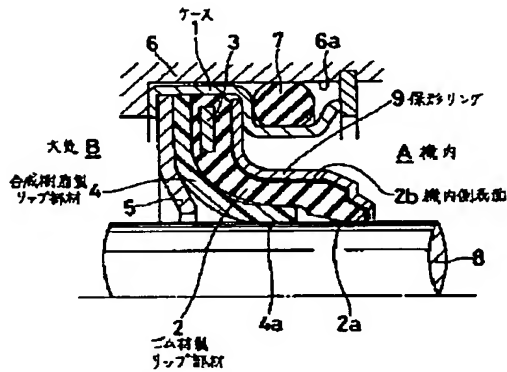
【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 金属製のケースの内周に、機内側のゴム材製リップ部材と、このゴム材製リップ部材を大気側から支承する合成樹脂製リップ部材が固定され、機内側へ延びる両リップ部材の内径摺動部がシャフトと摺接するリップ型シールにおいて、内径摺動部がシャフト外周面と摺接した状態における前記ゴム材製リップ部材の機内側表面の断面形状と相似形の断面形状をなす金属製の保形リングを、前記機内側表面に添設して前記ケースに固定したことを特徴とするリップ型シール。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例を示す半断面図である。

【図1】



2

【図2】 従来構造の一例を示す半断面図である。

【符号の説明】

- 1 ケース
- 2 ゴム材製リップ部材
- 2 a, 4 a 内径摺動部
- 2 b 機内側表面
- 4 合成樹脂製リップ部材
- 8 シャフト
- 9 保形リング
- 10 A 機内
- B 大気

【図2】

